

Ⅷ. 会議等への出席及び議会との調整

Ⅷ-1. 議員ワークショップの開催

Ⅷ-1-1. 開催概要

小方地区まちづくり議員ワークショップを平成29年1月18日(水)に開催し、「小方地区の強み・弱みについて」と「まちづくりのコンセプト・方向性について」3グループに分かれて討議を行ってもらった。

▼議員ワークショップ実施概要

実施日時	2017年1月18日(水) 13:30~15:30
実施場所	大竹市役所 5階委員会室、4階第2会議室
議題	①小方地区の強み・弱み ②まちづくりのコンセプトとまちづくりの方向性

▼グループ別討議の様子



▼グループ別討議結果発表の様子



小方地区の強み・弱み

カテゴリ	強み(今後伸ばしていくべき点)		弱み(今後改善すべき点)	
定住環境	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ公園がある スポーツ・憩いの場の公園整備 小方ヶ丘は魅力的 	<ul style="list-style-type: none"> 将来的には、老朽化の木造住宅解体により土地が生まれる 広島市内まで通勤範囲 マンションが安い 	<ul style="list-style-type: none"> 平地が少ない 公営住宅の統廃合(小方市営住宅)すべき 市内外から住んでみたい人への優良住宅を建設したらよい 	<ul style="list-style-type: none"> 買物が不便(小方地区外の人) 市役所があるので堅苦しい 工場地帯がある 人口減が止まらない
生活利便性	<ul style="list-style-type: none"> 市役所があり、便利 商業施設の集積 ショッピングゾーン(ゆめタウン・コメリ・トライアルなど)である 	<ul style="list-style-type: none"> コイコイバスがエリア内を回っている 小児科がある 阿多田の観光業との連携による港(交通網) 	<ul style="list-style-type: none"> 官公庁を分散させるべき 住宅と工業が用途混在している 工場は小方外にすべき 事業計画の長期化が必要 岩国大竹道路の長期化 施設規模が小さい 	<ul style="list-style-type: none"> 岩国大竹道路での壁が物理的に高い 現状の大型店のみでなく、各カテゴリーの店舗を誘致すべき 医療の密度が低い 美味しいランチを食べられるところがない 大竹・岩国にだけ都市ガスが無い(※WS後の追加意見)
交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> 岩国大竹道路の実現、完成の見通し 山陽道に大竹ICが近くにある 交通結節点になっている(JR・国道2号・高速道路・小方港) 	<ul style="list-style-type: none"> 小方地区は国道2号が4車線あるエリア 小方駅を設置しようとしている 陸、海、空、全部揃う 	<ul style="list-style-type: none"> 小方新駅が設置される JR小方新駅の実現の見通しが不透明 予定される小方まちづくりのエリア内の交通体系の整備が不十分 ガード下の改良すべき 岩国大竹道路が完成すると国道2号が過疎化する 	<ul style="list-style-type: none"> JRの駅が少ない 国道2号の信号が長い JRの駅が近くになく遠い 基本道路の設計が必要 小方アンダー(JR)の拡幅を含む 岩国大竹道路が進まない JRが町を分離している
子育て環境	<ul style="list-style-type: none"> 広い運動公園・広場(テニス・野球場など)がある 小方ヶ丘に若い人がたくさんいる 	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童がいない 保育所には車で通っている 小方学園がある 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所の統廃合を進めるべき 子育て費用の公的負担がない 	<ul style="list-style-type: none"> 働くための託児所の設置 子育て支援センター、保育所が近くにない
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 専門学校廃校を市民の交流の場として再利用したい 近隣の南町にもPRする 生涯学習施設として活用 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ広場が整備されている 単位、自治会がしっかりしている 	<ul style="list-style-type: none"> JR山陽本線及び2号ルートにより街が分断されている 小方公民館の事実上の廃止はだめ 代わる施設を高速道路の高架空間利用で整備したい 亀居城で町が分断されている 	<ul style="list-style-type: none"> 道路計画により旧市の町並みが消えた 若者のたまり場がない→大竹地区と小方地区の間にはある 市民の声、市民の自主活動がいまいち 小方地区連合としてのまとまりがない 地域に集える公園がない 晴海臨海公園が小さい
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> 亀居城がある 地域コミュニティは丁単位や町単位 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史がある町 	<ul style="list-style-type: none"> 市内外から訪れる歴史会館、文化交流会館を建設したい 	
地域資源	<ul style="list-style-type: none"> 桜の名所として、亀居公園がある 亀居城(文化)がある 山、海、里、島がある 阿多田の資源開発の可能性がある シルバー人材センター 水が美味しく豊か 	<ul style="list-style-type: none"> 県有地に余地がある 小方港より瀬戸内海へのアクセス 市が所有している土地、資産があり、宅地化の可能性がある 大竹コンビナート(H24年は西日本で4位) 黒川エリアは市の所有地が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 地域環境の活用(自然)と活かし方の工夫が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 山と海が近く、平地が少ない 住宅地域の幅の狭さ
交流人口・観光	<ul style="list-style-type: none"> 市外からの出入りが多い ゆめタウンの集客力が高い 広大な商業エリアは集客力が現存している 	<ul style="list-style-type: none"> 錦龍の滝(山が近い) 阿多田島へのアクセス 	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊場所(施設)がない 観光地の間 他地域との分離 	<ul style="list-style-type: none"> 晴海公園に大型車両が入りにくい 工場へ働きに来た人も宿泊ができない ビジネスホテルが欲しい
その他	<ul style="list-style-type: none"> 大型の(広い)未利用地がある 晴海の県有地 土地用地活用 小方小、中学校跡地 	<ul style="list-style-type: none"> 海を埋め立てることができる 未開発の土地が多くある 必要な要素が揃っている 	<ul style="list-style-type: none"> 大竹市域全体の街づくり構想が定まらず小方の特性が生かしきれない 風が強く吹く 中心がない 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に目玉となるものがない 国道2号の大型車 開発の予算がない 工場誘致の土地がない

強み・弱みから見てきた小方地区のまちづくりに必要なキーワード

<ul style="list-style-type: none"> ➤ 定住 <ul style="list-style-type: none"> →新駅の設置を利用して住んでもらいたい →住む人を増やしたい →若い人に来て欲しい、子育て、ファミリー →駅中心に定住。子育てや観光 →人口を増やしたい →大竹市の人は新参者に優しくない →JR新駅 →ゆとりある住宅で広島市との差別化をはかりたい ➤ 交通 <ul style="list-style-type: none"> →人口海浜 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 交流人口拡大 <ul style="list-style-type: none"> →スポーツ施設の充実 →水泳中心 →大竹は水が良い →温浴施設プールがほしい ➤ 観光 <ul style="list-style-type: none"> →観光、外からの飲食 →亀居公園を小方のシンボルに →擁壁に壁画 →桜の名所 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 商業 <ul style="list-style-type: none"> →商業・スポーツ公園に人を呼び込む ➤ 賑わい <ul style="list-style-type: none"> →交通分断の解消による人の流れをスムーズに ➤ 憩い <ul style="list-style-type: none"> →近隣から呼び込む(野球予選会や野球教室など) ➤ 話題性 <ul style="list-style-type: none"> →再開発リノベーション →五日市、廿日市市とは違う →オール電化
---	--	---

小方地区のまちづくりコンセプト・まちづくりの方向性は

	1班	2班	3班
まちづくりのコンセプト	<p>「商業・スポーツで住んでみたくなる 市民交流のまち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 定住、生涯学習、観光 ➤ 人が来るまち、住めるまち ➤ きんさい、みんさい、大竹 ➤ 商業・スポーツ 	<p>「めざせ コバンザメ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 可能性しか感じないまち、小方 ➤ 小判鮫 	<p>「働きにくる街から住む街へ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 住みたい街 ➤ 山～里～海の物語
まちづくりの方向性	<p>① ➤ 近隣から人を呼び込む</p>	<p>① ➤ 若者の住みやすさ ➤ 空き家に厳しく ➤ 一夫多妻、一妻多夫の条例 ➤ 自助互助、共助公助、基本条例 ➤ 若者が買入れできる安い土地の開発、これからの世代の価値観に適合する住宅ゾーン</p>	<p>① ➤ 岩国大竹道路のガード →新駅 →跡地</p>
	<p>② ➤ 岩国大竹道路、新駅、ガード改良の早期整備</p>	<p>② ➤ 交通ネットワーク ➤ 自動運転の地域交通の整備 ➤ 基本道路の設定による市街化計画</p>	<p>② ➤ 子育て支援 →保育機能を強化 ➤ 晴海臨海公園整備 →ファミリー等の多目的利用</p>
	<p>③ ➤ 市民の憩いの場(晴海公園)の整備 ➤ 県有地に温浴施設、プール、宿泊施設</p>	<p>③ ➤ 公有地貸します →出店ゾーン →創出ゾーン</p>	<p>③ ➤ 海、山を活かす →小説を公募する等 →話題づくり</p>
	<p>④</p>	<p>④ ➤ 市外からの来訪 ➤ 大竹にしかないものでNo.1を作る ➤ 高額納税者獲得作戦 ➤ 公設民営居酒屋(期間限定)</p>	<p>④ ➤ 観光</p>